

令和5年度議会による行政評価結果について

令和5年度議会による行政評価は、決算特別委員会委員において選定した事務事業について、委員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり議会による評価を決定し、令和6年度以降の事業と予算についての対応を期待する。

記

事務事業名 「コミュニティバス事業」

事務事業の方向性 「現状維持」

意見集約

住民生活を支える上で重要な役割を果たしていると考えられるが、さらなる超高齢社会において時代の要請に応えられるだけの柔軟性に欠けていると考えられるので、今後実証実験を行うデマンド交通の導入と普及に期待するとともに、それらの適切な接続点の設定、役割分担の明確化による地域公共交通ネットワークの再構築を要望する。

同時に、停留所を商業ベースで再構築することで、ニーズの多い買い物移動手段を確保するばかりか、停留所と車内広告を連動させた収益効果も図れると考える。併せて、要配慮者の乗降時と待ち時間における配慮の拡充を要望したい。

市民からの情報提供で、日曜日と祝日の観光周遊バスの停留所については、駅や各地域のコミュニティの中心地にも設置することで、さらなる利用者増と交流促進を図るべきであると考えます。

事務事業名 「路線バス運賃助成事業」

事務事業の方向性 「 現状維持 」

意見集約

高齢者の運転免許証返納者の増加に伴う移動手段の確保として重要な事業であると認識している。

コミュニティバス無料運行とのバランスを取る上で全額補助又は利用率を高められるような工夫としてタクシーチケット方式の導入、デジタル化によるバス車内での更新が可能なカード方式の導入等の検討が望ましい。

今後デマンド交通が導入・普及し、より充実したきめ細やかな事業展開が可能となった段階で廃止すべきである。